

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1－1. 申請団体

団体名	安堵町教育委員会			代表者名	教育長 久保茂樹
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	教育推進課	連絡先電話番号	0743-57-2033
担当者役職	主任	担当者氏名	箸尾谷 智恵	連絡先E-mail	
住所	619-0218 奈良県安堵町東安堵958番地				

1－2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1－3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICT教育推進事業
概要	当町におけるゼロトラストへの移行に係る既存ネットワーク（オンプレミス環境）からの変更点と必要な作業について具体的な手法を踏まえて助言いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 教育情報化／情報教育 自治体セキュリティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2－1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	618	令和7年8月26日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月15日	支援・助言(オンライン)	15時30分	17時00分	
				活動時間（分）	90
2－2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	谷 正友
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	谷アドバイザーは、民間企業、国・省庁、地方自治体等、幅広いフィールドでの勤務実績・事業実績をお持ちであるため、様々な見地からの助言等をいただくことができ大変感謝しております。 当町における新たなネットワークの構築に向け、アドバイザーの経験・知識を生かしたご助言・ご指導を賜り、また、自治体業務の進め方についても、ご自身の行政職経験に基づき細やかに説明してくださるので、業務の円滑化にも繋がっております。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、ご支援の程よろしく願いいたします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4－1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	2人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2	0	0

4－2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	学校現場ではネットワーク分離によりセキュリティの安全性を担保しているため、教員が複数の端末を使用する必要があり、また、異なるネットワークに繋がる端末間での作業が非常に煩雑となり、教員に多大な業務負担が生じている。そこで校務系・学習系ネットワークのフルクラウド化により、これらの諸問題を解決する方針ではあるが、当町には教育ICTやネットワークの構築について専門的な知識や情報を有する人材が存在しないため、フルクラウド化に向けた具体的なネットワークの構築やセキュリティ対策等について担当部署内で議論が進んでおらず、今後の見通しが立っていない状況である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	ゼロトラスト型セキュリティを採用することで、学校外部・内部からの通信を厳格化し、学校現場におけるICT活用の利便性を向上させる。また、教員が主体的にICTを利活用することにより、業務負担の軽減を図るとともに、児童生徒に対し個別最適化した学びを提供することを目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	以下の内容について、助言及び説明をいただいた。 ①ゼロトラストへの移行後の既存ネットワークの取扱いについて ②既存端末(Windows10)のサポート終了後の取扱いについて ③教員用端末の設定(セキュリティ、ログインポリシー、Googleサービス利用範囲)及び持ち帰り運用方針について ④今後必要となる作業について 支援を受けた者:教育委員会事務局ICT担当者	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①ゼロトラストへの移行後の既存ネットワークの取扱いについて →ゼロトラスト移行後の他ネットワークの再構築について具体的な対応方法を知ることができた。 ②既存端末(Windows10)のサポート終了後の取扱いについて →サポート延長及び新規端末整備についてセキュリティ面を踏まえた対応方法を知ることができた。 ③教員用端末の設定(セキュリティ、ログインポリシー、Googleサービス利用範囲)及び持ち帰り運用方針について →他自治体での事例を参考に、当町における校務端末の設定等について助言をいただくことができた。 ④今後必要となる作業について →新規校務端末の取扱いに関し教職員に対し適切な説明を行うなど、今後必要となる作業について参考となるお話を聞くことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	ゼロトラストへの移行については次年度に予算化を図り推進する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	児童生徒の学びの向上を実現するため、校務DX推進に向けて必要なICT環境が整備され、教員のICT活用に対する意識及びICTスキルが高まること。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

